

平成30年度 学校だより 第6号

篠津原野に雲晴れて

【教育目標】

先人の熱いところを受け継いでふるさとに生きる力を育む
 真理を探究する人
 友情を大切にする人
 創造し実践する人
 健康で明朗な人

第36回新篠津中学校体育祭

今年も熱戦が繰り広げられました

悪天候と低温のために一日順延となりましたが、6月10日(日)に、第36回体育祭を実施しました。当日は、なんとかグラウンドコンディションも回復し、多くのご来賓と保護

者の皆様、地域の皆様の応援をいただきながら、生徒たちは、練習の成果を存分に発揮することができました。競技は全員が参加する100校



走から始まりました。その後、フィールド競技とトラック競技に分かれての個人選択競技を行いました。午前の最後はA軍B軍に分かれての団体種目でした。異学年が集まったの競技は、練習からいろいろと大変でした。しかし、3年生が後輩たちを引っ張り上げて、本番は素晴らしい結果を残してくれました。

午後は、新篠津中学校伝統の応援合戦から始まりました。男子の迫力と女子の華麗さが見事に表現されており、伝統をしっかりと引き継ぐとする思いが伝わるものでした。

各地区の皆さんで競う「PTA種目」は、今年も「ボール渡し」でした。一生懸命に取組んでいただいたおかげで、大変盛り上がりました。ご参加いただきました皆さん、本当にありがとうございました。体育祭最後の競技は「全員リレー」でした。勝利を目指して一生懸命走ってバトンをつなぐ姿が爽やかであり、印象的でした。

学年縦割りで競い合う本校の体育祭は、3年生のリーダーシップ、2年生の中堅学年としての自覚、1年生の必死についていこうという思いがうまく繋がってはじめて成り立つものです。今年も、それがしっかりと受け継がれ、体育祭の成功に導きました。今回で学んだ多くの

ことを、これからの学級活動や生徒会活動、部活動等にいかしてほしいと思います。今年も、たくさんのご来賓や保護者の皆様、地域の皆様のご声援をいただきました。また、準備や大会運営の補助としてPTAの皆様のご協力をいただきました。心よりの感謝申し上げます。

戦いを終えて 晴れ晴れと



最後は互いに健闘を讃え合いました

体育祭両軍の解散式



右は、体育祭のA軍B軍それぞれの解散式の様子です。3年生の熱い思いが、後輩たちに伝達されました。新中の伝統が引き継がれていく瞬間でした。

緑の募金活動 皆さんの善意を届けました

生徒会を中心に取組んだ「緑の募金」活動。今年は3,697円の募金が集まりました。これを6月4日、本校生徒会を代表して林会長が、役



場の緑化推進委員会の方に手渡しました。募金は、さまざまに「森づくり・人づくり」活動に活かされる予定です。



6月3日にPTA環境委員会による環境整備作業が行われました。今年、旧校舎横の植木の剪定作業と、事前に剪定していた枝木や端材等を撤去する作業を行っていただきました。お父さん方が精力的に取り組んでくださったおかげで、予定時間よりも早く作業を終わらせることができました。校舎周りの環境も改善しました。本当にありがとうございました。

1学期期末テスト 21日・22日

今週の21日・22日の日程で、1学期の期末テストを実施します。21日は全学年とも国語・数学・社会、22

日は理科・英語・保体・技家(3年生は保体・技)です。今回の期末テストは、1年生にとって初めて経験する定期テストとなります。

期末テストを実施するにあたり、テスト2週間前にテスト範囲表を配り、学習計画を立てました。また、1年生は初めてということ、テスト勉強個別面談を行い、学習方法を学年の先生方からアドバイスをしました。

なお、18日・21日はテスト勉強時間確保のため、放課後の諸活動は停止となります。ご家庭で過ごす時間が多くなりますので、よろしくお願いたします。



新篠津村PTA連合会 研修旅行のお知らせ

毎年行われている村P連の研修旅行を、今年度も実施いたします。詳細については後日改めてお知らせしますが、今のところ8月23日(木)・小樽市で計画しております。定員が決まっておりますので、早めのお申し込みをお願いいたします。

昨年もお知らせしましたが、「ノーゲームデー」は、電子メディアとの過度の接触を見直すなど、子どものネット利用を含めた望ましい生活習慣の定着、ネットトラブルの根絶、ネット利用にかかわる心と体の健康課題の解決を目指した北海道全体の取組です。この「ノーゲームデー」をきっかけとして、望ましいネット利用に向け、各家庭や地域におけるルールづくり等が促進される事が期待されます。また、体験活動や読書活動の推進を呼びかけることも趣旨としています。

第1・第3日曜日は、スマートフォンやゲームから離れることをご家庭でもすすめていただけたらと思います。子どもたちだけではなかなか実行できない取組ですので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。